

## 雲南市立斐伊小学校 心に残る文化財子ども塾

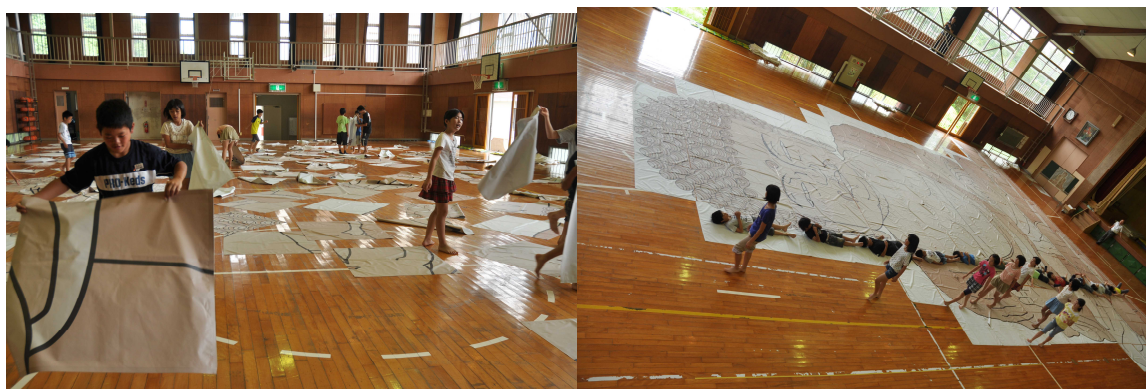
7月3日(水)には、雲南市立斐伊小学校に伺いました。6年生18名の参加です。時間は、2校時、3校時。流れとしては、はじめに和同開珎とは何かについて説明し、その後ゴムの型を使って和同開珎を作ってみる模擬体験をしてもらいました。固まるまでの間に、奈良の大仏作成の映像 DVD(18分)によって、大仏建立の推定復元の様子を視聴した。固まった和同開珎の鋳型を開けると、きれいにできあがっていて、児童の皆さんの間からは「わあ!」という歓声が巻き起こりました。各自一個ずつ離し、マイコインができあがりました。体育館に移動して大仏パネルづくりに挑戦、児童の皆さんの協力のもと約13分で完成し、その大きさをいろいろな形で体感してもらう2時間でした。

### 【活動の様子】



①溶けた金属を鋳型に流し込む。

②和同開珎を1個ずつわせる



③大仏パネルの組み立て中!

④大仏の大きさ(高さ)を実感!

### 【学習後の感想】

- 和同開珎づくりで、固まって取り出したら、すごくきれいに固まっていてびっくりしました。
- 大仏づくりに多くの人に参加したり、3回も燃えたりしても修復してそんなに大仏が大切なんだとおもいました。
- 大仏の高さは6年生の男子が11人並んでも足りないほどで、大仏の実際の大きさがわかったり、手に乗った時でかいなと思いました。

斐伊小学校6年生の皆さん、先生方、ありがとうございました。